

POPO

2016年(平成28年)5月

第11号



Contents

- 認定こども園ピノ…2
- 法人便り、特集…3
- 各部報告…4～5
- インタビュー…6
- コラム…7
- お知らせ・募集…8

法人理念：「共生と自立」

利用者：生活の中で楽しく健やかに生き、生きる力を育むこと

職員：チームワークを持って仕事に励み、創造性を持って自己啓発すること

地域：地域との絆を保ち、地域との共助



伝言板

児童

映画「みんなの学校」上映会

「すべての子どもに居場所がある学校を作りたい」—ある公立小学校の取り組みのドキュメンタリー映画です。

日時：H28年5月20日（金）10時

場所：認定こども園モモ

定員：30名（要予約）

お問い合わせ：モモ 767-8470 石山まで

法人

法人祭 カシオペア祭のお知らせ

日にち：H28年9月17日（土）

会場：1 老人ホームモモ

2 認定こども園モモ

3 認定こども園ピノ

高齢者

ボランティア「カメカメスタッフ」 募集

内容：お話し相手、車いすを押すお手伝い
活動の補助、片づけお掃除など
あなたの智恵と余った時間を貸して
ください。

まずはお気軽にお電話をください。

児童

モモとピノの子育て広場ひだまり

子育て講座「発達体操」

日時：H28年7月2日（土）10時～

講師：トート・ガーボル氏

場所：認定こども園モモ

定員：15組（要予約）

申し込み：認定こども園モモ

高齢者

正規介護職員募集中

あなたの手をあたためたい介護の仕事に
生かしませんか。

初めての方でも、ていねいに指導いた
します。職員一同お待ちしております。
詳しくはお電話ください。

042-767-8030

編集後記

いま、九州では大きな災害が起きています。自分には何が出来るのか、何をしたらいいのか、もどかしく思う日々です。蒼生会でも災害が起きたときにどうするのか、今一度見直しつつ次号では特集を組みたいと思います。

社会福祉法人蒼生会

HP <http://sosaykai.org/>

○〒252-0301 神奈川県相模原市南区鶴野森 1-22-17 FAX 共通 042-767-8032

特別養護老人ホーム モモ / ショートステイ モモ TEL 042-767-8030

デイサービスセンター モモ TEL 042-767-8280 / ケアハウス モモ TEL 042-767-8281

居宅サービスセンター モモ TEL 042-767-8278

○〒252-0301 神奈川県相模原市南区鶴野森 1-15-12 TEL 042-745-1701 FAX 042-745-2745

コミュニティーホーム ピノ / ショートステイ ピノ / コミュニティーセンター ピノ

○認定こども園モモ 〒252-0301 神奈川県相模原市南区鶴野森 1-21-4 TEL 042-767-8470 FAX 042-767-8475

○認定こども園ピノ 〒252-0344 神奈川県相模原市南区古淵 1-8-1 TEL 042-750-0065 FAX 042-750-0068

平成28年4月1日より保育園ピノは「幼保連携型認定こども園 こども園ピノ」に移行いたしました。移行にあたり利用者の皆様には事前に十分なご理解をたまり、法人を代表して心より御礼申し上げます。

さて、認定こども園移行にあたり最も多い質問は「何が変わるのか？」ということでした。

皆さんもご推察のとおり、こども園の制度は厚生労働省と文部科学省に跨ることから、認定こども園は幼稚園的機能と保育所的機能の両方を合わせて持つ単一の施設で、小学校就学前の子供の教育・保育・子育て支援を一体的に提供する施設ということになります。また、こども園の認可については、改正認定こども園法に基づく単一の認可（教育基本法第6条の法律で定める学校）が必要であることから学校的な要素が強まっている事が分かります。

しかし、こども園に関しては上記のような説明をしてもすぐにご理解いただくのは難しいかもしれません。幸いピノやモモのこれまでの保育の取り組みは、こども園の運営内容に非常に近い運営をし

てまいりました。そのため、こども園運営に必要な要素はすでに両園の運営内容に取り込まれているといえますのでご安心ください。その他に大きく変わることと言え、利用料（自己負担分）を直接こども園に納めていただくことです。利用者の皆様には引き落とし口座を作っていたりなど少々お手間をおかけすることになります。すがよろしくお願いいたします。市内の保育園からは最も早く認定こども園に移行したモモとピノは、これからも園児にとってなにごよいかを考え続けてまいりますのであたたかい応援をお願いいたします。

理事長・園長 大久保祐次



幼保連携型認定こども園

認定こども園ピノ

新たな一歩

保育園ピノが開設した当時に0歳児クラスだった子ども達が、この春に卒園しました。子ども達一人一人が、未来への希望を胸に新たな道を歩み始めたのと同じく、保育園ピノも、4月から認定こども園ピノとしての一歩を踏み出しました。

こども園になることで、クラス編成や教育時間の設定など、仕組みが変わった部分もあります。事務的な手続きなど、保護者の皆様のご理解ご協力が無ければ準備を進められませんでした。そんな中、保護者の方から「先生たちがさらに忙しくなり大変ではないかと心配しています」「これからピノの良さを大切にしてほしいです」と励ましの声をいただきました。

そして私たち職員は、今の子ども達に必要な教育・保育とは何かを考え、子どもの安心・安全を第一に優先すること、ピノの文化や取り組みなど、決して変わらない（変えてはならない）ものがあることも再認識しました。

こども園ピノでは、大人が一方的に教え込むことをしません。これからは、子ども達が意欲・興味・関心を持ち、自ら関わり、挑戦したくなる環境づくりを大切にしていきます。大人は手本

となり、子どもと対話しながら、主体的に活動する（学ぶ）楽しさを伝えていきます。



年長クラスになると、劇ごっこやお店屋さんごっこなど、協同遊びをたくさん経験します。遊びの中でこそ、子どもの創造力と主体性は発揮されます。意見を出し合い、協力し合い、共通の目標を持って取り組むことで社会性が育ち、小学校での「学びの芽」となる知性、粘り強さが身につけていきます。

今日もまた、こども園ピノは子ども達の笑顔と涙であふれています。私たちは、大人も子どもも共に育ち合い、学び合えるこども園でありたいと思います。

副園長 佐々木朋子

法人便り



4月1日、蒼生会の入社式がありました。

今月より12名が仲間に加わります。皆さんの希望に満ちたまなごしは私たちの気持ちまで明るくしてくれるようでした。みなさん、これから一緒に頑張りましょう。

蒼生会の新しい施設「フレイグラントオリーブ ナナ」の起工式が3月4日金曜日に執り行われました。

建物のオーナーをはじめ法人理事長や蒼生会の本部職員、そして建物の建築に携わるセキスイハイム株式会社役員及び関連会社の代表が一堂に集まりました。当日は天気にも恵まれ、亀が池八幡宮の宮司によって起工式が粛々に行われ、建設用地に大事に残された巨大な金木犀が出席者の注目を集めていました。

「ナナ」が完成すると蒼生会では5つ目の拠点となります。蒼生会はここで高齢者住宅と小規模保育園、訪問介護ステーションなどを運営する予定です。

新たな施設のキーワードは7歳と70代。「ナナ」の名前は新たな世界へ向かう子どもと大人をイメージしています。それぞれが新しい世界へのスタートを健やかに迎えられよう、精神と身体を育む施設でありたいと願っています。



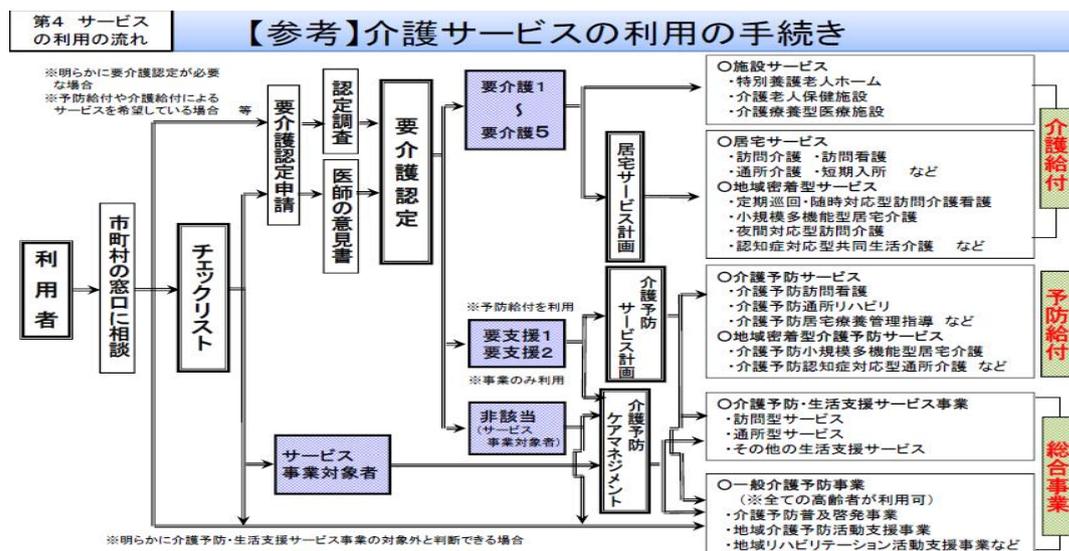
～「介護予防・日常生活支援総合事業」とは～

居宅サービスセンター モモ：諸林 賢

平成24年の介護保険法の改正で「介護予防事業」の中に位置づけられ、平成27年4月施行の改正介護保険法により「新しい総合事業」へと発展的に見直されました。平成30年度からは完全に市町村事業として実施されます。

大きな変更点となる「介護予防・日常生活支援総合事業」の導入と、その将来的な影響について説明いたします。

介護保険の給付サービスとして、これまで要支援者のために「介護予防サービス」が用意されていましたが「介護予防・日常生活支援総合事業」では、利用者の状態・意向を市町村が判断し「介護予防サービス」と「生活支援サービス」が一体的に提供されます。今後は、サービス利用料の決定も含め、市町村が主体となって行うこととなります。相模原市ではこれらの事業へ円滑に移行するため、経過措置を定めて平成28年4月から実施することになりました。



各部報告

認定こども園モモ

入園式



4月1日入園式を行いました。たくさんの新しいお友だちとともに新たな1ページを開きました。



卒園式

3月5日 認定こども園第1回卒園式を執り行いました。20名の卒園児たちがさらなる未来へ羽ばたいていきました。

特別養護老人ホームモモ



おやつレクの風景

みなさんが一緒に楽しめる行事として
特養モモでは、おやつレクを行っております。

職員と一緒に、生地を焼いたり、盛り付けをしたりと、みなさんと協力して作る楽しみを味わっていただいております。

最後はみんなで美味しくいただきました。

特養モモ
碓谷篤志

ケアハウスモモ

寒い冬の定番といえば温かい鍋です。

平成28年2月14日に毎年恒例の鍋パーティーを行いました。

今回の鍋は、皆さんが大好きな

『すき焼き』となりました。

たっぷりのお肉やお野菜に

味がしみこんでおり、とろとろの温泉卵

につけて食べました。皆さんからはとても

おいしいと大好評でした。バレンタイン当日という事で、デザートにチョコレートケーキを皆さんに贈りました。温かい鍋で心も体も温まりました。皆さんの素敵な笑顔を見ることができて大成功となりました。

ケアハウスモモ 大谷 真美



『デイサービスセンター モモ』



デイサービスでは、

様々なプログラムで皆さんに楽しんで頂けるようにと考えています。

多くの笑顔が次のプログラムを考える上での活力となり、皆さんの思い出の1ページになれば幸いです。

コミュニティホームピノ

コミュニティホームピノは今年4月で開設3年を迎えます。当施設は3つのユニットから成り立っています。その中から今回はEAST2の昨年度の様子を特集します！

コミュニティホームピノは相模原市で初めての地域密着型特別養護老人ホームです。

ユニットケアを導入し、1名1名を把握でき馴染みの関係を作りやすく、今までの暮らしを継続しながらアットホームな雰囲気の中で生活を楽しむ事が出来るのが特徴です。

EAST2では、入居されている皆さん、ご家族の方々、そして職員も「EAST2で良かった」と思われる、笑顔が溢れ元気に過ごして欲しいという思いを持ってユニット作りを行っています。

🎉 平成27年10月お弁当作り 🎉

平成27年10月に行った、「お弁当作り」の様子です。皆和気あいあいと楽しく卵を割って、漬物を作って、ご飯を混ぜて…、美味しそうなお昼の



平成25年度の相模原市「介護の日大会」
「介護に笑顔はよく似合う」写真展
「介護に笑顔はよく似合う」写真展にEAST2ユニットの出展作品が優秀賞を受賞致しました。
作品名「ここにおいでよ！」

コミュニティセンターピノ

コミュニティセンターピノは認知症の方々を対象としたデイサービスです。今回は利用者の皆様のデイでの活動を写真と共にご紹介していきたいと思ひます。

認知症は現代の医学では完治出来ない「病気」です。コミュニティセンターピノは認知症対応型通所介護施設として地域の認知症の方々や、そのご家族の気持ちに寄り添い症状の進行の緩和や、ご家族の介護負担の軽減に努めています。お天気のいい日には施設の庭での足湯や昼食、時には気分転換に外出訓練やお菓子作りなどを行い、利用者の皆さんの残存機能を生かしたレクリエーションを行っております。



あの人にインタビュー



日々、利用者と接する職員をご紹介させていただきます。
今回はドライバー横田宏さんに聞きました。

*趣味・特技 — もの作り・修理

*利用者と接するにあたって心掛けている事 —
若い職員とは違い、利用者と年齢が近い自分ならではの話の切り口で皆さんとお話しをしています。

* * * * *
様々な仕事をしてきた経験を活かし、お話し幅広いで利用者を笑顔にできる素敵な職員です。

勤続 10 年

H28 年 1 月の理事会で、勤続 10 年の職員 5 名が表彰されました。

特養：小峰慎吾

デイサービス：福田絵美、川上徹

認定こども園モモ：茂木美千子、須山洋子



世代間交流のひとつコマ 「なかよしコンサート」



認定こども園モモ・ピノの年長児達が施設利用者と楽しいひとときを過ごしました。こども達の可愛い歌や踊りを見たり、みんなで一緒に、歌ったり手遊びをしました。

あたたかい拍手や笑みがこぼれていました。最後に利用者の手作りのメダルを「卒園おめでとう」という意味を込め、こども達の首に掛けプレゼントしました。

特養モモ 友田 千鶴

認定こども園モモ厨房で聞いてきました

Q. 給食へのこだわりはありますか？

A. 私たちはこども達がおいしく食べてくれるか等、考えながら作っています。食缶がからで返ってくるととてもうれしいです。

体にやさしく、あたたかみのある給食を作るために材料にこだわっています。今回は給食で使用している二つのお店をご紹介します。



八百屋チャンプル（季節の野菜） 

有機農法で育てた野菜を取り扱うお店です。

季節ごとに旬の野菜を給食に取り入れています。

サンレモ（西山製パン）

「元気パン、ぶどうパン、食パン」

①国産小麦 100%使用

②有機栽培の原料を使用

③無農薬玄米を米糲で発酵させたサンレモオリジナルの西山式玄米酵母を使用と、厳選された材料でパンが作られています。